

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年3月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105149
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホームかすが
所在地	鹿児島県鹿児島市春日町8番25号 (電話) 099-248-1058
自己評価作成日	令和6年 2月14日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム理念「あなたの歩んできたこれまでの道のりを尊重し、あなたの出来ることを大切にありのままのあなたと共に歩いていきます」この理念を朝礼の三唱と共に毎朝の朝礼、申し送りや毎月の勉強会でケアの振り返りとして共通解釈し、またご入居者が入居者らしく居られる様、ご家族とのご面談やご相談には職員担当を中心に取り組み、理解、共有していくことで当ホームにおけるケアの考え方や方向性、職員一人、一人が一つの目標を持って支援に進んでいけるものと考えてます。また、これまでも地域との交流を手探りでありましたが大切に運営してきましたが、これからは他機関との連携も図りながら地域の皆様に還元できるホーム作りを目指していきたいと思っています。グループホームの方針 パーソンドケアは毎日の業務に振り返りを持ってグループホームならではのご入居者様がお自分らしくいられる環境作りを念頭にサポートしていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地から車で5分ほどの春日地区に平成18年に開設されている。法人の系列には母体の協力医療機関やグループホーム(19事業所)をはじめ多くの介護事業所があり、日頃から法人本部を中心に情報の共有や協力の体制が構築されており、合同の会合や研修等が実施されている。ホームの周辺は閑静な住宅地で交番や史跡、古い屋敷、小学校もあり、少し離れた国道10号線沿いには医療機関や金融機関、スーパーマーケット、コンビニをはじめ多種の商業施設、マンション等が立ち並んで利便性に恵まれた環境である。

開設以来、地域との交流を理念に掲げて大切に取り組んできており、家族や友人とのオープンな面会や通院、散歩時の挨拶、訪問美容、季節の花見(桜や秋桜他)、保育園児の歌やお遊戯による慰問、小学生との交流、家族との外出や外食、買い物等を支援している。町内会に加入して地域の情報の把握に努め、清掃活動や避難訓練、文化祭の見学等に積極的に取り組み、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談や施設見学等にも丁寧に対応している。昨年の敬老会には久しぶりに家族との外食をととても楽しんだ事もあり、今後も家族や地域との交流の機会をコロナ禍の以前程度に増やしたい意向である。

管理者及び職員は、ホームの理念をユニット入口や事務室に掲示し朝礼で唱和も行っており、「利用者は人生の大先輩である」ことを常に意識して、尊厳や想い、残存機能等を大切に利用者主体のケアに努めている。利用者及び家族からの意向や要望をケアの中や面会、電話等で丁寧に汲み取り、職員会議やカンファレンス等で協議して改善に努めており、アンケートの結果からも家族との信頼関係が築かれている状況が窺える。日々の生活も可能な限り自立した生きがいのある暮らしとなるよう各利用者の思いや生活習慣等に配慮しながら、趣味や楽しみ事への取り組みも個別の支援にも努めており、ホームは優良事業所として法人本部から表彰を受けている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域において、本人らしく過ごして頂く事を理念に掲げ、毎日の唱和を行っている。職員会議等にて適宜振り返りを行い、共有を深めている。	ホームの理念は玄関や各ユニットの入口、ホールにケアの年度目標と共に掲示しパンフレットにも掲載しており、朝の申し送りでの唱和や年度初めに研修も実施して周知を図っている。利用者が地域や家族との関係を継続しながら、その人らしく安心した生活となるように毎月の職員会議でケアの振り返りや意見交換等も行って理念に沿ったケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、町内の清掃活動や消防団による避難訓練に積極的に参加、地域の文化祭等へ出席し舞台観賞等を行っている。	家族や友人とのオープンな面会やドライブによる通院、散歩時の挨拶、訪問美容、職員の食材購入時に同行、家族との外出や一時帰宅、墓参等を実施し、桜島大根等の農産物の差し入れを頂いている。町内会に加入して地域の情報の把握に努め、清掃活動や文化祭の舞台観賞等を積極的に取り組んでおり、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談等にも丁寧に対応しているが、ホーム内でのイベントへ時の家族や地域住民の参加やボランティアの受け入れは自粛中である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ボランティア入門講座講師依頼・医療センター講師を受け、高齢者や認知症の方への支援方法等への講義を行っている。地域の方からの入居相談等に応じて支援方法等の相談を受けて助言等を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・町内会・地域の方々も参加頂き、取り組みや現状を報告、話し合いを行い、意見や助言等を頂きながらサービス向上に活かしている。今年度は感染状況を確行いながらの開催、紙媒体でのご報告を行っている。	コロナ禍の状況により、本年度は家族代表や民生委員、町内会長、消防署、地域包括相談支援センター等による書面会議又は会議を開催している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット、事故等の報告や協議を「かすがだより」も閲覧してもらいながら行ない、委員からは地域の情報やコロナ禍に関する質問等が出されている。書面会議の際には資料を持参して意見等を聞き取っており、職員は議事録や職員会議時に内容を共有し迅速に検討して業務やサービスの向上に繋げている。家族には毎年度末に内容を報告している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	要介護認定申請時等、市役所へ出向く際には、相談や情報等収集を行い、協力関係を築ける様に取り組んでいる。	市役所の窓口に出向いたり電話、メール等で介護保険や各種制度の相談や申請、コロナ禍対応の協議を行うなど日頃から協力関係を築いている。市からの情報の把握やリモート研修等に積極的に参加して改善に取り組んでいる。介護相談員の受け入れ希望を市に提出し、グループホーム連絡会（北地区）の研修にもリモートで参加している。生活保護受給中の利用者はいない。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、職員会議等の際に勉強会や話し合いを行い職員トイレに「禁止の対象となる具体的な行為」「身体拘束がもたらす弊害」「拘束が拘束を生む悪循環」等の文書掲示、常に意識する様心がけ支援に取り組んでいる。	身体拘束については運営規定や利用契約書に明記され、高齢者虐待や成年後見制度を含む研修を計画的に実施し、トイレには拘束の対象行為や弊害等の文書も掲示して共有している。職員会議や日頃のケアの中で振り返りや意見交換等を行って拘束の無いケアに努めており、身体拘束適正化の指針を整備し身体拘束廃止委員会も年4回開催して認識を深めている。スピーチロックや不適切なケアを見受けた時はその都度助言し、不穏な利用者には寄り添いや散歩に同行して安定を図るなど日常的に改善を図っている。現在成年後見制度を2人の利用者が活用中で、センサーの利用については事前に家族の了解を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等の際に勉強会を行い、施設職員の目が届く箇所へ文書を掲示、常に意識する様心がけ支援に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修（リモート含む）に参加、内部にて勉強会を実施し、各職員が権利擁護について学ぶ機会を持てるよう努めている。ホームでの事例を通じた話し合い等にて共通理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時・改定の際は、書面をもって十分説明し、理解・納得を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、電話連絡時等にて意見や要望等を聞く事が出来る様に、関係づくりに努め、直接は言い難い意見・要望も頂ける様、意見箱の設置している。現在は利用無し、直接的に意見等頂けております。	利用者や家族には意見や要望を出し易いように日頃から雰囲気づくりを心掛け、各ユニット入口には意見箱も設置して忌憚なく意見を出して貰うように努めている。利用者の思いは日頃の会話や表情、仕草等で汲み取り、家族からは面会や電話、手紙、毎月の「かすがだより」で利用者の状況をコメントや写真で伝えて意見、要望を出して頂くように取り組んでおり、意見はケアカンファレンスやユニット会議、職員会議等で共有し全員で協議して改善を図っている。出された意見の処理状況は家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等にて意見や提案が頂ける様に心がけ、管理者会議にて代表と話す機会が設けられている。	管理者は、日頃の業務の中や申し送り、職員会議、年2回の人事考課時の自己評価シート、個別面談等で職員の意見や要望、悩み等を把握して改善に努めている。日常的にケアへの助言や研修を実施し、残業の無い就労や休憩時間の確保等に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的な事情にも配慮するなど働きやすい職場環境の整備に取り組んでおり、管理者と職員は信頼及び協力関係を築いている。給与体系や外部研修受講時に要する経費の助成制度等が整備されて職員のモチベーションアップに繋がっており、本年度もオムツマイスターの研修を受講している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者より代表へ報告・相談が出来る体制が出来ており、管理者会議等にて問題提議も行える。本部の管理課や人事の職員への相談やアドバイス等も頂けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修・グループ研修の案内を行い、適宜参加を募っている。 各職員の経験や力量に応じ適切な研修への参加も促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修等にて積極的に交流を行い、ネットワークづくりを心掛け、自ホームでのサービスの質の向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に施設の見学や面談を十分に行い、不安な事、要望を聞き取りアセスメントでは、本人の経歴や病気、家族他について情報収集を行い、それを、事前に職員間で共有し利用者様の安心を確保できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に関しても、ご本人と同様に見学や面談を行い不安、要望等を聞き取りそれを職員に周知しケアに活かせる様な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始前の面談でその時必要としている支援を見極め、医療、福祉用具、将来的な事他、希望に沿ったケアが行える様に努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が環境作りや補助をしながら、掃除、家事、庭の手入れ他本人にとって可能な事は無理のない程度に参加して頂き、暮らしを共にする者同士の関係作りに努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族へのお便りや電話にて連携を図り面会や行事を通して集い家族間の絆を持ちながら、本人主体のケアを共に考え支えていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた環境を出来る限り変えない様に努めており、感染症対策にも留意しながら、これまでの関係が途切れない様努めている。	利用者毎の家庭環境や馴染み等に関する情報を把握し、利用者の意向に沿って関係の継続に取り組んでいる。感染予防に努めながら家族や友人との面会や訪問美容、食材買い出し時の同行、ドライブによる通院時には馴染みの街並みや季節の花等を楽しんでいる。敬老会には家族も一緒に外食を楽しみ、電話や手紙の取り次ぎにも努めており、利用者の和服姿の年賀状を家族や主治医など馴染みの人に送付し、携帯電話を所有している利用者は日常的に家族との会話を楽しんでいる。周辺の感染状況を把握しながら、馴染みの人や場との交流の機会を増やしたい意向である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各入居者の個性を理解し入居者同士の関係を把握しながら、座席の工夫、必要時には職員が間に入り孤立する事なく、良い関係が築ける様、支援に努める。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後は支援は行っていないが必要に応じてフォローし相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から直接的な希望、それが困難な場合は普段の様子観察を通し、ケアカンファレンスにおいて共有し家族の希望も踏まえケアに活かすよう検討を行う。	難聴や重度化によりコミュニケーションが難しい利用者もいるが、日頃の関わりの中での会話や仕草、筆談、独自のサイン等から思いを丁寧に汲み取り、職員はユニット会議や申し送り等で共有して利用者主体の安心安全な暮らしとなるよう家族の意向も確認しながら取り組んでいる。趣味や家事、楽しみ事等の取り組みも自己決定を尊重し体調や残存能力に配慮しながら個別の支援にも努めており、「支援経過記録」等に状況を残している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメントでの、情報収集や家族からの聞きとり、入所後の生活でのふれあいを通し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子、心身状態をケース記録に記録し、毎日の申し送りやカンファレンス、定期的なアセスメント等で把握した事の確認に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を伺いモニタリングや必要な関係者とのカンファレンスにて意見やアイデアを反映して現状に即した介護計画の作成に努めている。	利用者や家族の意向を汲み取り、受診時の主治医の助言指示や3か月毎のモニタリング、カンファレンス時の職員の意見、日々の記録等を基に、習慣や趣味、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。計画は原則6か月ごとに更新するが、利用者の状況に変化が生じた時には実態に沿った計画に変更し、利用者の残存能力を発揮できるケアの支援に努めている。実施状況は各種のチェック表や申し送り、支援経過記録等で共有している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当職員が毎日個別のサービス記録を記入し職員間で情報共有しカンファレンス等で確認し話し合いを行い、支援方法の実践や工夫に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々本人や家族の状況を把握、勘案し変化や事情が発生すれば、その都度家族からの聞き取りや職員間での話し合い、必要であれば既存のサービスに捉われない、柔軟な支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会、消防、交番他、地域資源を把握して交流や貢献等出来る様支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居契約時に本人、家族の意向を聞き相談してかかりつけ医を決め定期的に受診をしている。必要な時は、医療、家族との連携を図りながら適切な医療を受けられるよう努めている。	各利用者の病歴を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しており、3か所の医療機関が主治医となっている。定期的な通院や訪問診療（歯科、皮膚科を含む）が実施され、他科受診（眼科他）については家族と連携しながら通院する等、適切な医療を受けている。訪問看護により点滴や看取りケアが実施され、日頃から衛生や健康管理に努めており、協力医療機関との24時間医療連携の体制も構築されて、利用者及び家族の安心、信頼につながっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルや様子観察を通して状態変化や異変があれば職員同士で相談し連携を図りながらかかりつけ医に報告して適切な受診を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は文書にて、病院側に情報提供を行っている。入院中も何かあれば医療、家族との連携を図り情報共有しながら、退院時も病院からの情報提供、家族との話し合いを通し関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所の方針について説明は行っているが、重度化した場合は医療、家族と連携を図りながら利用者に、より良い支援が出来る様に家族と話し合い方針を共有して支援に取り組んでいる。	重度化や看取りの対応は指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して事前意思確認書を貰っている。重度化した時点で再度家族の意向を聞き取り、家族や主治医、訪問看護師等と連携してホームで可能な限りのケアをチーム体制で取り組んでおり、本年度も2件の看取りを実施している。重度化や緊急時の対応の研修を実施し、スキルアップや不安感の軽減に努め次回以降の看取りケアに資している。指針の見直しを検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	体調の急変、緊急時のマニュアルは準備されており、職員に周知して情報の共有を図りながら、緊急発生の際は対応しその都度勉強会等で話し合いの機会を持ち、実践力の向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、日中・夜間の想定で、消防訓練を行い消防団からの指導を頂いている。又、勉強会にて全職員に避難方法等の周知を行っている。	年3回、消防署立ち合いで日中、夜間、地震の各災害発生を想定した防災訓練を実施し、訓練の評価や災害時の留意点、防災設備の取扱い等を研修している。日頃から避難経路の確認や災害情報を話題にして防災への認識を共有しており、災害時の食糧や水、介護用品等は近隣住民の避難も受け入れることも考慮して10日分程度を備蓄している。現在はコロナ禍に配慮して災害訓練に地域の人の参加は自粛しているが、町内会に加入して地域との協力関係を構築している。BCPは作成済みで来年度から施行予定である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念でもある「これまでの道のりを尊重」を心がけ。おひとりおひとりを敬い尊敬の念を持って言葉かけ対応を心がけている	人格の尊重や個人情報の取扱い、秘密の保持については運営規定や利用契約書に明記され、研修の実施やケアの振り返り、意見交換を行って認識を共有している。利用者には常に敬愛の気持ちで接しており、特に排泄や入浴時は人格や羞恥心、習慣等にも配慮した言葉遣いに努め、居室への入室はノックや声掛けを励行するなど接遇マナーを守り、利用者の自己決定を尊重したケアに取り組んでいる。申し送りはホールで行っているため、利用者の氏名は部屋番号等で表現し情報紙等への氏名、写真の掲載は利用者及び家族の意向を利用開始時に確認している。利用者にかかる台帳等は事務室で適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思い希望を受け入れ選択出来る様働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの思いを大切に、日々の過ごし方に沿えるよう希望を受け入れながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望、好みをお聞きし季節に合わせ調整を行っている。定期の訪問理容時の希望によりカット・パーマなど個別に対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じられる食材を使用し献立を作成しています。食事の下準備や後片付け等出来る事は職員と一緒にお手伝いして頂いています。	食事は利用者の何よりの楽しみで関心も高いことから、好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限、代替品等に配慮したメニューを作成し、飲食店勤務の経験を持つ担当職員（6人）が調理している。季節毎の行事食（お節、彼岸、誕生会他）や誕生日のケーキ、手作りのおやつ、テイクアウトのハンバーガー、家族との外食等に努めており、利用者も食材の下処理（皮むき等）、テーブル拭き、片付け等に自発的に取り組んでいる。嚥下機能については歯科医師の診断を受けており口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量はチェック表に記入し、確認を行い健康状態にあわせ食事形態の変更や必要時にはボカリ、水分ゼリー等で補い対応支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけ、見守り、介助を行っている。必要に応じ歯科往診行い、口腔内清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しトイレでの排泄が自立できるように支援している。	チェック表で利用者毎の排泄パターンを把握し、さりげない声掛けや誘導等の支援で昼間は出来るだけトイレで排泄している。夜間のみオムツやリハビリパンツにパットを着用するなど、身体の状態や習慣等に配慮しながら介護用品やケアの方法をプランに反映させている。オムツマイスターの研修も受けて改善に取り組み、介護用品の消費が減少するなどの成果が見られている。食事や乳製品（ホット牛乳、ヨーグルト）、水分の摂取量、運動に配慮して自然排便に努めているが状況によっては主治医の指導を受けて座薬で対処している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事で食物繊維を多く取り入れたり乳製品を提供、軽体操、歩行運動の声掛けを行い必要であれば便秘薬も利用し予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回基本入浴支援を行っている。個々の状況や希望に応じて入浴を楽しめるよう工夫し支援している。	個浴での午前中入浴を基本週2回支援しているが、状況によってはシャワー浴や清拭で保清している。入浴の順番や温度、時間、好みのシャンプー、同性介助（現在は男性の利用者はいない）等は意向に沿って柔軟に対応し、入浴後は水分補給や保湿軟膏の塗布等を支援している。入浴を渋る利用者には無理強いしないで時間や介助者の変更、声かけ等を工夫し、清拭や足湯での対応など利用者の意向を確認しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の習慣を大切に安眠できるように清潔な寝具を用意。日々の体調や気分に応じて支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は個々に応じて介助を行い変更時は情報共有しながら、居宅療養管理指導を利用し薬剤師からの定期的な指導、相談が出来る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に応じて出来る事を見つけ食事の片付け、洗濯物たたみの役割を持ったり、外食・ドライブ・テレビ鑑賞など楽しみを持てるよう支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別での買い物、地域の文化祭を見学したり、近隣の神社へ初詣に出かけたり外出支援を行っている。家族の協力で食事に出かけている。	コロナやインフルエンザ等の感染予防に配慮しながら外気浴や周辺の散歩、地域の文化祭の見学、ドライブによる通院、春日神社への初詣などで支援し、また墓参、ホテルでの外泊、一時帰宅、買い物、外食等を家族との外出も支援している。また、ホーム内で時節に応じた作品作りや軽い体操、ゲーム、昔の音楽や映像等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで小口現金を預かり利用者の必要なもの等希望に応じて購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望に応じていつでも電話ができるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花や利用者の作品を展示している。 ホール、廊下には季節を感じられるような設営を心がけ利用者と一緒に作成している。	ホーム全体がバリアフリーの構造で廊下やホール等は余裕のある広さが確保され、テレビやテーブルセット、空気清浄機等が利用者の利便性や人間関係を考慮して設置されている。整理整頓や採光、空調等にも細かに配慮し随所に手すりも設けてあり、玄関やホールには季節に沿った展示物が毎月変更して飾られ、利用者の作品やパッチワークなどの手芸品、活花等が飾られて、和やかで清潔感のある空間となっている。台所からは調理の音や臭いも伝わり家庭的な雰囲気、利用者は好みの場所で平穏な日々を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内での個々の所定位置を決め、利用者同士で談笑されたり、庭を眺められたりとゆっくり過ごせるような環境を作っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の行動しやすい動線に家具、机を配置し好みの物や写真を飾ったりと心地よく過ごせる様、支援している。	居室入口には好みの暖簾がかけてあり自宅を想定して住所、氏名が表示されている。室内はフローリングに腰高窓の構造で明るく余裕ある広さが確保され、エアコン、電動ベッド、加湿器が備えてある。過剰なケアとならないように利用者の意向を確認しながら清掃や整理整頓を支援している。利用者は自宅からテレビや寝具、タンス、ハンガーラック、家族写真等を持ち込み、自身の作品や頂いた表彰状等も飾るなど、家庭同様に居心地良く過ごせる環境を整えて平穏な日々を過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が場所の確認ができるように居室前には写真、名前のプレートを貼り、わかりやすく工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	☐	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	☐	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		☐	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		☐	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない